

岡崎東高校と日本福祉大学社会福祉学部 「教育連携・交流協定」を締結

令和6年2月27日

愛知県立岡崎東高等学校と日本福祉大学社会福祉学部は、2月27日に互いに自主性を尊重し、教職員の相互交流により、生徒・学生の教育を通じ、現在と未来の福祉社会の担い手を育成し、専門職養成教育の充実に資することを目的として、この度教育連携・交流協定を締結した。

これにより、高校の授業に大学から教員や学生を派遣していただき、出張授業を開催する。出張以外にも、福祉教育の充実に向け、更なる取り組みの拡充をめざしていく。

本校の大野校長は、「本校の教育目標のひとつに、地域社会に有為な人材を輩出することを掲げている。この目標を実現させるためにも、今回の協定は願ってもない絶好の機会。双方にとってより良い協定となることを願っている。」と、保正学部長は、「社会福祉学部は2027年の東海キャンパス移転にむけて、地域連携・他機関連携を進めてようとしているところで、今回協定のお話をいただけたのは嬉しい限り。今回の連携協定の締結により、出張授業などの取り組みをより一層充実させていきたい」と、原田学長は、「以前から、本学では高校・大学の多感な青年期に福祉を学ぶことをとても大切にしてきた。今回の協定を組織間に留まらず、中心に生徒・学生を据え、ともに成長を支えていくことができるような連携にしていきたい。」と、述べられた。



原田正樹学長

大野正樹校長

